

「仕事がなくなった」など新型コロナの影響、深刻 文教経済常任委員会が商工業組織の青年部代表と意見交換

市議会文教経済常任委員会（上野公悦委員長）は18日、上越青年会議所及び上越商工会議所青年部、各区商工会青年部の代表6人と市内経済活性化にむけた仕事づくりや支援策などについて意見交換しました。商工業組織の青年部とこうした意見交換会をしたのは、議会の主催では今回が初めてかと思えます。

この日の会では、商工団体の6人の代表が、それぞれ自己紹介をかねて今の商工業の現状やこれからの課題などについて語りました。これがよかったですね。会の中では、新型コロナ対策を中心に様々な意見、要望が出されました。

新型コロナウィルス感染症関連では、「新型コロナの影響で仕事なくなり、週末だけでも働かせてもらえないか、と頼まれた」「医院などで置かれていた週刊誌等のラックがなくなり、日銭が稼げなくなった。その一方で、すごもり事情が反映し、ワークやドリルが売れた。またオニのつく漫画がブレイクして、その特需があった」「コロナ禍のなかで在来工法により住宅を建てるお客さんが少なくなっている」「地域振興券を増やしてもらい感謝している。いまは紙ベースでやっているが、電子マネー化できないか考えている」「地域の祭りができなくなっているなかで、花火を配って、同じ時間帯に各家庭でやってもらって、祭りがなくなっても子どもたちの思い出づく



りができるようにしていきたい」「塾の授業にズームを採り入れたが、新型コロナ問題を逆手にとって対応することが大事だ」などの発言がありました。

この他、「（市発注建築工事では）上越市民の建物なのに、市内業者が携われない（ことが多い）。こういう状況を何とかしたい」「米本陣が終わってしまったが、コミュニティスペースとして活用できないか。若者たちが楽しんで集まれる施設として使ってもらえれば幸いだ」「消雪で水が循環する装置、地熱を使う

装置に補助金を出してほしい」などの声が上がりました。

今回の会議で出されたご意見、ご要望は日本共産党議員団でもしっかり検討して、市政に反映できるように頑張りたいと思います。



【カマツカ】バラ科の落葉小高木。漢字で「鎌柄」と書きます。花期は4月から6月。白い花を咲かせます。花弁はほぼ円形です。木はかたく、鎌やハンマーなどの柄にもってこいです。牛の鼻輪にも使われたとか。花言葉は、「真心」。写真は5月17日、撮影。



モニターリングポスト電光表示板外したままの所も
市内14箇所に設置されている放射線モニターリングポストの状況を4月から見て回っています。
これまで柿崎区、吉川区、大島区の13箇所のモニターリングポストを見てきました。2年ほど前に見た時よりも防雪対策などが強化され、電光表示板も見やすくなりました。
ただ、吉川区坪野地内及び大島区田麦地内にあるモニターリングポストの電光表示板が外されたままになっていました。雪等で破損したものと思われるものが、そうであれば、それを知らせる掲示くらいしてほしいものです。写真は大島区田麦地内。

はしづめ法一の
活動レポート

No.2012 2021.5.23

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第六五九回

旗持山へ

先日、柏崎市の旗持山（はたもちやま）へ行ってきました。旗持山は柿崎や大湊などからよく見える山で、標高三六六呎。数年前、上越市教育委員会のある女性から、「あそこは野の花の宝庫ですよ」と言われて以来、ずっと気になっていた山です。

米山町の国道脇の登山口から登ることにし、聖ヶ鼻（ひじりがはな）にまず行き、車を止める場所を探してから歩きました。

聖ヶ鼻の高台からは米山町を初めて見下ろしました。町並みはもちろんのこと、海岸がずっと先まで見え、直江津の火力発電所も見えます。「ワオー」と叫びたくなるほどの絶景スポットでした。そこへ2両編成の電車がやってきましたから、たまりません、大急ぎでシャッターを切りました。

登山口のところには小さな看板があり、「登り六〇分、下り四〇分」とありましたが、標高もたいしたことない、これは楽勝だと思いましたが、甘かったですね。

最初は小鳥たちや野の花の撮影をし、ゆったりと歩いていたのですが、いったん下り坂になり、再び杉林の中の上り坂になってからが長かった。登っても登っても薄暗く、青空が見えてこないのです。何よりもずっと続く坂道が七〇歳を超えた体にはきつく、一〇回くらい木の根に腰掛けて休みました。

ほっとしたのは野の花と出会ったときです。道にはスミシヤクサイチゴなどが咲いていました。特に杉林の中の登山道脇で小さな白い花を咲かせている植物を見つけた時はうれしくなりました。この花は、十数年前に初めて出会ったクルマムグラです。久しぶりの出会いで疲れを忘れられました。

杉林を抜けたのは一時間以上歩いてから。山の尾根ともいうべき場所へ出たとき、海が見えました。波はすじ状になっていて低く、色はブルーでした。そして、「海の高さ」を感じました。具体的に言う

と、手前の海岸部が低く、遠くの海が高くなって見えたのです。下から吹き上げてくる風もじつに気持ちいいものでした。「みはらし」と書かれたミニ看板がある近くでは、上輪大橋がよく見えました。アーチ型のきれいな橋ですね。

山頂に着いたのは午後二時四〇分頃です。登山口からは一時間四〇分弱だったことになりました。

山頂の平なところに二つの小さな看板がありました。「旗持山山頂」と「旗持山城址」です。四月に郷土史家の植木宏さんから上杉謙信の時代の山城について話を聞いたばかりでしたが、旗持山城は海岸警備の要で、春日山城の支城群の一つです。この日は残念ながら木の枝が邪魔をして、春日山城址を望むことはできませんでした。また、旗持山と柿崎側の山の空間は、下で見ると、手塚治虫の漫画、「ハトよ天まで」に出てくる黒姫山と久風呂岳の景色に似ています。そこもよく見えますね。

私が山頂から一番見たかったのは高速の北陸道です。柏崎から柿崎方面へと走る時、正面に見える旗持山から見たら高速道はどんな感じに見えるのだろうかと思っていました。今回、やっと念願が叶いました。高速道のラインは美しく、山頂から走っている車を見ると、大きな動物が足元で動く虫を見ている感じになるんですね。

山頂からの下りは上輪大橋の近くに出るルートにしました。ロープが随所に張られるほどの急こう配の坂道です。杉林のところに下りるまでは靴がすべりやすく、ずっと緊張しました。国道まで下りたのは午後四時頃だったと思います。

今回の旗持山登山で出会えた野の花は、この時期ですからクルマムグラ、オオハナウドなどほんの数種でした。でも、山頂からの眺望は抜群、旗持山城の重要な役割も理解できました。N先生に感謝です。

「ラフベリー」「ひなた」も参加し、独自の酒造り

音楽グループ、「ラフベリー」と「ひなた」も参加し、オリジナル（独自）の酒を造る計画がスタートしました。16日、吉川区東寺で五百万石の田植えイベントが行われたのです。主催は吉川観光協会。どんな名前の酒になるのか、どんな味になるのか楽しみです。



浄善寺でもコンサート

柿崎区の浄善寺で15日、コンサートが行われ、参加者は住職の長井順一さん兄弟の雅楽、滝澤ちづ子さんと古田義明さんの歌などを楽しみました。

山崎伸さんのサクソフォーンと五十嵐聖由紀さんのピアノ演奏では、平山真利子さんがゲストボーカルとして伸びのある声を披露しました。山崎さんのサクソフォーン、今回も力強い演奏でした。

イラストは滝澤ちづ子さんと古田義明さんの歌のおかげコンビということでしたが、息の合った名コンビで、加山雄三などの歌が素敵でした。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

| | 5月12日(水) | 5月19日(水) |
|--------|----------|----------|
| 上越南消防署 | 0.057 | 0.050 |
| 上越北消防署 | 0.047 | 0.043 |
| 新井消防署 | 0.050 | 0.057 |
| 頸北消防署 | 0.050 | 0.053 |
| 頸南消防署 | 0.070 | 0.060 |
| 東頸消防署 | 0.047 | 0.047 |
| 名立分遣所 | 0.050 | 0.053 |
| 高士分遣所 | 0.047 | 0.053 |